

大学院特別講義

演題：中鎖脂肪酸の栄養生理機能
—栄養補給から難病治療まで—

講師：大東力カ才株式会社
研究開発センター 顧問

青山 敏明 先生

日時：2024年11月27日（水）17:00~18:30

場所：医学部基礎第一講義室

青山先生は、日清オイリオグループ株式会社ご在職中には、中鎖脂肪酸の効用を利用し、体脂肪のつきにくい食用油「リセッタ」を開発され、大東力カ才株式会社では研究開発センター・顧問としてご活躍されている本学栄養学科のご卒業生です。今回は、下記の内容でご講義していただきます。

■要旨■

中鎖脂肪酸は炭素数6~12の脂肪酸である。中鎖脂肪酸は長鎖脂肪酸とは消化吸收経路が異なることから、未熟児や術後患者の栄養補給に古くから用いられてきた。中鎖脂肪酸の栄養生理効果については、今までに体脂肪蓄積抑制効果、低栄養改善効果、脳機能改善効果等様々な効果が報告されている。最近では難病治療にも利用され始めている。本講義では中鎖脂肪酸の起源、性質等を説明した後、その栄養生理効果について栄養補給から最新のデータまで概説する。

本講義は、大学院医学研究科、医科栄養学研究科、口腔科学研究科の大学院特別講義ならびに、クラスターコアセミナー（骨・筋とCaクラスター）を兼ねています。

多くの先生方、大学院生、学部学生、興味をお持ちの全ての方々のご来聴を歓迎いたします。

連絡先：生体栄養学分野 二川 健（内線 9248）